

## 第9回 大臣表彰受賞者一覧

受賞者名	概要
島信一郎・北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会	<p>障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に映画を楽しめるよう、字幕や手話通訳等に加え、音を手話で表現するミュージックサイン(本団体独自の取組)を準備した映画祭を市電車内でも継続して開催しており、障害者の外出機会拡大による地域の活性化、映画祭ワークショップに参加する地域の小中高生に対する心のバリアフリーの取組などに貢献している。</p> <p>⇒音情報の文字化だけでなく、視覚的方法でも表現するユニークな活動を継続しており、地域の活性化や心のバリアフリーの推進に貢献</p>
鳥取県	<p>鳥取県では、障害のある方と共生できる社会を目指し、全国で初めて「鳥取県手話言語条例」を施行(平成25年10月)しており、JR鳥取駅やバスターミナルにおいてタブレットを用いた「遠隔手話通訳サービス」を開始するとともに、交通事業者においても手話の習得に積極的に取り組むなど、主に手話に関する取組を進めている。</p> <p>⇒手話言語条例を全国に先駆けて制定し、JR西日本をはじめとした公共交通機関等との連携を通じ、手話に関するハード・ソフト両面での取組を積極的に実施</p>
香川県難聴児(者)親の会	<p>聴覚に障害を持つ子供達の自立を促すため、バス会社と連携して路線バスへの磁気ループ導入(四国初)、公共施設や宿泊施設などを対象とした磁気ループ設置施設マップ作成を行うなど、難聴者等にも必要な情報が聴き取りやすい環境の整備に取り組んでいる。</p> <p>⇒難聴児を持つ親による熱心な運動が自治体や民間事業者を動かし、バスや公共施設などにおける磁気ループ等の設置を促進</p>